

企業局 成果報告

企業管理者 前 田 和 宏

上下水道経営部長 向 井 成 人

上下水道事業部長 海 道 克 也

部局達成度

				
—	14	—	—	2

総 括

安全で安心な上下水道サービスを将来にわたり安定的、かつ持続的に提供するため、効率的な経営を目指すとともに、施設の老朽化対策、耐震化、耐水化を進めました。また、浸水被害低減のための事業も計画的に進めています。

水道事業においては、基幹管路や施設の耐震化を優先的に進めるとともに、施設の計画的な整備や更新による予防保全に努めました。また、水道 GLP については、イベントを通じて PR を行い、本市の水道水の安全性をアピールすることができました。

簡易水道事業においては、下味見地区統合事業の推進や老朽化対策を進めています。施設の定期的な配水池等の清掃も行い、水質保全に取り組みました。

下水道事業については、普及拡大事業や管路の耐震化に取り組みました。また、大雨による浸水被害の軽減を目的として下水道雨水対策実施計画を策定しました。さらに、ポンプ場の耐震化、能力増強を行い、加えて、施設の長寿命化対策として、管路及び施設設備の更新に取り組みました。集落排水施設についても、施設の長寿命化に取り組んでいます。

組織目標ごとの達成状況

I. 上下水道事業の一層の健全経営に努めます

上下水道事業とも、業務の効率化を図り、各指標の目標を達成することができましたが、人口減少等による収益の減少や経営コストの上昇等により、今後は財政状況の悪化が予想されます。しかしながら、耐震化や更新事業は着実に進めていく必要があります。今後もより一層の業務改善に努めます。

また、市民に上下水道について関心を持ってもらえるよう、今後も PR イベントや説明会など様々な広報活動を展開していきます。

II. 安全でおいしい水を安定供給します

基幹管路の耐震化については、重要給水施設配水管等耐震化工事等を進め、耐震化率の目標を達成しました。水道管路の更新と維持管理については、無ライニング鑄鉄管布設替工事において、工事区間の一部で不測の日数を要したことから年度内に完成できませんでした。今後は適正な工程管理に努め、一日も早い完成を目指します。水道施設の予防保全については、更新工事が計画どおり進捗し、目標を達成しました。また、タブレットによる遠隔監視システムを導入することにより、作業現場で配水池水位や配水量等の必要な情報を正確に確認ができ、作業の効率化及び迅速化に繋がりました。

簡易水道事業の整備推進については、下味見地区簡易水道統合事業において西河原浄水場設備設置工事が完成し、施設の稼働を開始しました。折立浄水場建築工事についても計画どおり完成し、目標を達成しました。また、水質保全については計画した全ての配水池及び、ろ過池の清掃を行いました。

今後も安全でおいしい水を安定的に供給出来るよう、水道管路・施設の耐震化や更新を推進して行くとともに、適切な維持管理に努めます。

III. 安全で快適な下水道サービスを提供します

未普及地区の整備については、計画通り整備を進め、人口普及率の目標を達成しました。雨水対策事業については、雨水対策実施計画の策定と改良型雨水枡の設置は目標を達成しました。処理場の耐水化工事については、防水扉等の製品製作に期間を要するため早期に発注しましたが、入札不調により受注者の決定が大幅に遅延した事で年度内に完成できませんでした。今後は適正な工程管理に努め、一日も早い完成を目指します。

加茂河原ポンプ場更新事業については、目標どおり供用開始することができました。また、足羽ポンプ場更新事業については、地元調整や関係機関等との協議を経て、詳細設計が完了しました。来年度から工事に着手し、切れ目なく整備を進めていきます。下水道施設の長寿命化、管路の耐震化及び集落排水施設の機能強化、保全についても、計画どおり目標を達成しました。

今後も快適なサービスの提供や衛生的な生活環境を確保するため、下水道の未普及地区の整備、施設の長寿命化及び耐震化、並びに雨水対策の推進に努めます。

IV. 災害時に速やかに対応できるよう、危機管理能力の向上に取り組みます

上下水道事業の危機管理マニュアルに基づき、市民生活に欠かすことのできないライフラインである水道、下水道施設が被災した場合でも速やかに復旧できるよう災害対応訓練を行っています。

訓練は、事前にシナリオを公開しない、臨場感のある実践的な形で行い、非常時の対応力の向上に努めました。また、給水車や排水ポンプ車の操作訓練を始めとした現場対応訓練や、関係団体等との連携、指揮命令系統の確認など、各種訓練を実施しました。

また、給水タンク車や排水ポンプ車などの緊急対応車両を運転できる職員を新たに10人育成し、令和6年能登半島地震での応急給水派遣にも十分対応することができました。

今後も実践的な訓練を継続するとともに、事後評価により訓練手法等の改善を図り、危機管理能力の向上に努めます。

I. 上下水道事業の一層の健全経営に努めます

1	上下水道事業の安定経営	6安全な水とトイレを世界中に 11住み続けられるまちづくりを	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	安全で安定した上下水道サービスを継続するため、「福井市水道事業ビジョン 2020」及び「福井市下水道事業経営戦略」に基づき、経営基盤の強化に取り組めます。			
取組内容	○決算書において経営指標の評価・分析を公表 ○福井市水道事業ビジョン 2020 令和 4 年度進捗管理 ・ 10 月公表 ○福井市下水道事業経営戦略 令和 4 年度フォローアップ ・ 10 月公表			
指 標				
計 画		結 果 ・ 成 果		
経常収支比率(水道)：120%以上 経費回収率(下水道)：100%以上		経常収支比率(水道)：120%（見込み） 経費回収率(下水道)：106%（見込み）		
成果・課題	「福井市水道事業ビジョン 2020」及び「福井市下水道事業経営戦略」に基づき、経費の節減や業務の効率化を図り、経営の健全化に努めた結果、目標を達成することができました。 今後も引き続き、両計画に基づき各種施策を確実に実施するとともに、健全な財政運営に努め、経営基盤の強化に取り組んでいきます。			

2	上下水道料金等の収納率維持	6安全な水とトイレを世界中に 	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	上下水道料金等の収納率については、現在の過年度収納率が99%を超え、高い水準を維持しています。 納付が困難な世帯や事業者から支払い等に関する相談があった場合には、実情に配慮した納付相談を行い、委託事業者と連携しながら、より一層のお客様サービスの向上に取り組み、高い水準の維持に努めます。			
取組内容	○滞納整理の取組 ・電話督促による長期滞納の未然防止（随時） ・転居者に対する精算金未収入分の電話督促及び休日訪問徴収（市内7月・12月、市外2月） ○実情に配慮した納付相談 ・お客様の実情に応じた納付相談の実施（随時） ○委託業者（ヴェオリア・ジェネッツ株）との定例会議 ・毎月1回開催（12回）			
指 標				
計 画		結 果・成 果		
過年度収納率：99.8%以上		過年度収納率：99.8%		
成果・課題	上下水道料金等の徴収については、委託業者と連携を図り、滞納整理訪問やお客様の実情に配慮した納付相談を行うことで、目標を達成することができました。 今後も、お客様へのサービス向上や料金徴収業務の効率化を図りつつ、収納率の維持に努めます。			

3	上下水道事業の見える化を推進	6安全な水とトイレを世界中に 11住み続けられるまちづくりを	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	日頃目にする機会が少ない上下水道の役割や重要性について広く理解してもらい、関心を高めてもらうため、あらゆる機会を通じてPRに努めるとともに、広報紙やホームページ、SNSなど様々な情報媒体を活用し、幅広く情報の発信に努めます。			
取組内容	○PR事業の実施 ・マンホール・ワン・コンテスト募集、審査（6月1日～8月21日） 最優秀作品蓋設置、表彰式（11月5日） ・下水道ポスターコンクールの募集、審査（6月12日～9月25日） くらしと下水道展の開催（下水道ポスターコンクール優秀作品の展示）（10月7日～10月9日） ・上下水道すごろくの作成【チャレンジみらい予算】（7月） ・上下水道展の開催（7月17日） ・FBC福井放送「ふくい足もと遺産」で水道記念館を放送（8月20日） ・ふくチューバー「市役所調査③水を届ける仕事」公開（9月14日） 「市役所調査④水質検査の仕事」公開（10月20日） ・デザインマンホールマップの作成（10月） ・福井市環境フェアへの出展（11月3日） ・『「落ちない・スベらない・サクラ咲く」合格まんぼ～るお守り』の配布（12月） ○企業局広報誌「上下水道のミカタ」の発刊（7月号、11月号、3月号） ○水道100周年記念事業関連広報 ・100周年記念ロゴマークの募集、最優秀作品決定 ・ロゴマークを活用したノベルティ（ネックストラップ、缶バッジ、名刺等）の作成 ・給水スポットラッピングデザインの募集、最優秀作品決定 ・西武福井店の福袋「水道水の製造現場の舞台ウラ体験福袋」限定15名募集→81名応募 ・企業局壁面に100周年PR看板設置			
指 標				
計 画		結 果・成 果		
PR事業の実施：6回以上 企業局広報誌の発刊：3回		PR事業の実施：9回 企業局広報誌の発刊：3回		
成果・課題	日頃、目にする機会が少ない上下水道の多様な役割や仕組み、重要性などについて知ってもらい、関心を高め、理解を深めてもらうため、様々な広報手段を用いてPRを行っています。 今年度は、すごろくで遊びながら福井市の上下水道の仕組みを学ぶことができる「上下水道すごろく」を作成しました。 また、新たにテレビ番組やYouTubeを活用し、水道の魅力を発信しました。 さらに、普段は目に見えない下水道に関心や愛着を持ってもらうきっかけとするため、これまでのマンホール・ワン・コンテストの最優秀作品等を地図に落とし込んだ「デザインマンホールマップ」を作成しました。 来年度は、水道事業が9月に100周年を迎えるため、更に積極的に広報に力を入れていきます。 今後も、PR事業の実施や幅広い広報媒体の活用により、上下水道事業に関する様々な情報を分かりやすく提供します。			

II. 安全でおいしい水を安定供給します

4	基幹管路の耐震化	11 住み続けられる まちづくりを	13 気候変動に 具体的な対策を	達成度																		
実 行 内 容																						
行動目標	「福井市水道事業ビジョン 2020」で理想像として掲げた「災害に強い水道」を実現し、地震時においても安全でおいしい水を安定して供給するため、重要給水施設配水管路等の重要な基幹管路の耐震化を計画的に進めます。																					
取組内容	○基幹管路の耐震化																					
	<table><tr><td>・ 九頭竜森田相互連絡管整備工事（令和 4 年度繰越工事）</td><td>0.59km</td><td>（5 月完成）</td></tr><tr><td>・ 基幹管路等耐震化工事（令和 4 年度繰越工事）</td><td>0.12km</td><td>（5 月完成）</td></tr><tr><td>・ 重要給水施設配水管等耐震化工事</td><td>0.72km</td><td>（3 月完成）</td></tr><tr><td>・ 九頭竜森田相互連絡管整備工事</td><td>0.08km</td><td>（3 月完成）</td></tr><tr><td>・ 基幹管路等耐震化工事</td><td>2.82km</td><td>（3 月完成）</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>4.33km</td></tr></table>					・ 九頭竜森田相互連絡管整備工事（令和 4 年度繰越工事）	0.59km	（5 月完成）	・ 基幹管路等耐震化工事（令和 4 年度繰越工事）	0.12km	（5 月完成）	・ 重要給水施設配水管等耐震化工事	0.72km	（3 月完成）	・ 九頭竜森田相互連絡管整備工事	0.08km	（3 月完成）	・ 基幹管路等耐震化工事	2.82km	（3 月完成）	計	
・ 九頭竜森田相互連絡管整備工事（令和 4 年度繰越工事）	0.59km	（5 月完成）																				
・ 基幹管路等耐震化工事（令和 4 年度繰越工事）	0.12km	（5 月完成）																				
・ 重要給水施設配水管等耐震化工事	0.72km	（3 月完成）																				
・ 九頭竜森田相互連絡管整備工事	0.08km	（3 月完成）																				
・ 基幹管路等耐震化工事	2.82km	（3 月完成）																				
計		4.33km																				
指 標																						
計画			結果・成果																			
⑬ 13 基幹管路の耐震管率 ： 39.6%（4 年度）→41.7%（5 年度）			⑬ 13 基幹管路の耐震管率 ： 41.7%																			
成果・課題	災害時においても安定した水道水を供給するため、「福井市水道事業ビジョン 2020」に基づき、計画的に基幹管路の耐震化を進め、目標を達成することができました。 今後も引き続き、「災害に強い強靱なまちづくり」の実現のため、大規模災害発生時においても迅速かつ確実に水道水を供給できるよう、基幹管路の耐震化を進めます。																					

5	水道管路の更新と維持管理	DX	6 安全な水とトイレ を世界中に	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実行内容						
行動目標	安全でおいしい水を安定的に供給するため、更新時期を迎えた無ライニング铸铁管を計画的に更新します。また、漏水調査や仕切弁点検を定期的実施するとともに、漏水による道路陥没等の二次災害を防止するため、道路管理者との連携を密にして、管路パトロールを実施します。さらに、遠隔臨場システムを活用することにより、漏水事故等の初期対応の効率化及び迅速化を図ります。					
取組内容	○無ライニング铸铁管の更新					
	・無ライニング铸铁管布設替工事（令和4年度繰越工事）		0.9km	（6月完成）		
	・無ライニング铸铁管布設替工事		2.2km	（3月完成）		
	○無ライニング铸铁管の残存延長 （R4末残存延長）－（R5更新延長） ＝ 27.1km －（0.9km＋2.2km） ＝ 24.0km					
	○漏水調査（12月完成） ・漏水調査業務 524.0km					
取組内容	○管路パトロール等（11月完成） ・基幹管路パトロール 191.7km ・仕切弁点検 244カ所					
	○水道管路維持管理のDX（8月完了） ・タブレットによる遠隔臨場システムの構築					
	指 標					
計 画			結 果・成 果			
無ライニング铸铁管の残存延長 ：27.1km（4年度）→23.5km（5年度）			無ライニング铸铁管の残存延長 ：24.0km			
漏水調査延長：524km			漏水調査延長：524km			
管路パトロール			管路パトロール			
基幹管路パトロール：191.7km			基幹管路パトロール：191.7km			
仕切弁点検：244カ所			仕切弁点検：244カ所			
水道管路維持管理のDX			水道管路維持管理のDX			
：タブレットによる遠隔臨場システムの構築			：タブレットによる遠隔臨場システムの構築			
成果・課題	無ライニング铸铁管の更新について、工事区間の一部で通過交通を考慮し、夜間施工を予定しておりましたが、近隣住民から騒音に対する影響を懸念し、昼間施工への変更を要望されました。そのため、車線規制の見直しや施工時間の制限等、交通管理者との再協議に不測の日数を要しました。更に、昼間施工に伴い店舗出入りの安全確保も必要となったことから進捗が遅れ、年度内の完成ができませんでした。今後は、作業員の増員などを図りつつ、適正な工程管理に努め、早期完成を目指します。 漏水調査、管路パトロール及び水道管路維持管理のDXについては、計画どおり完了することができました。 今後も引き続き、安全でおいしい水を安定的に供給できるよう、水道管路の維持管理を行いながら計画的な更新に取り組めます。					

6	簡易水道事業の整備推進	DX	6 安全な水とトイレを世界中に 	11 住み続けられるまちづくりを 	達成度	
実 行 内 容						
行動目標	簡易水道において、安全でおいしい水を安定的に供給するため、維持管理の効率化を図る統合事業と老朽化した設備の更新事業を進めます。また、未監視の地区に遠方監視装置を設置し活用することにより、漏水事故等の初期対応の効率化及び迅速化を図ります。					
取組内容	○下味見地区簡易水道統合事業 ・折立浄水場建築工事 (3月完成) ・西河原浄水場設備設置工事 (繰越) 膜ろ過設備設置工事 (1月完成) 電気計装設備工事 (3月完成) ○簡易水道設備更新事業 ・南宮地地区取水ポンプ更新工事 (1月完成) ○簡易水道維持管理のDX ・東天田地区遠方監視装置設置工事 (12月完成) ・城有地区遠方監視装置設置工事 (2月完成) ・間戸地区遠方監視装置設置工事 (3月完成)					
指 標						
計 画			結 果・成 果			
下味見地区簡易水道統合事業			下味見地区簡易水道統合事業			
：折立浄水場建築工事 1件			：折立浄水場建築工事 1件：完成			
：西河原浄水場設備設置工事 2件			：西河原浄水場設備設置工事 2件：完成			
簡易水道設備更新事業			簡易水道設備更新事業			
：南宮地地区取水ポンプ更新工事 1件			：南宮地地区取水ポンプ更新工事 1件：完成			
簡易水道維持管理のDX			簡易水道維持管理のDX			
：遠方監視装置設置工事 3件			：遠方監視装置設置工事 3件：完成			
成果・課題	下味見地区簡易水道統合事業は、西河原浄水場の設備設置工事が完成し、施設の稼働を開始しました。また、折立浄水場建築工事を年度当初に発注し、適切に工程管理を行い工期内に完成することができました。 簡易水道設備更新事業及び簡易水道維持管理のDXにかかる工事4件については、当初計画どおり整備し、目標を達成しました。 来年度も、工事の早期発注に心掛けるとともに、適切な工程管理、安全管理に努め、令和8年度の下味見地区簡易水道統合事業の完了に向け、引き続き取り組みます。					

7	簡易水道事業の水質保全	6 安全な水とトイレを世界中に	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	簡易水道の水質を保つため、32カ所ある簡易水道施設の配水池及びろ過池の清掃を、年度計画に基づき実施すると共に、目詰まり等による運用支障があった場合は随時清掃を行います。			
取組内容	○簡易水道施設清掃 ・配水池清掃の実施：13池（8月～12月） ・ろ過池清掃の実施：4池（4月～8月）			
指 標				
計 画		結 果・成 果		
簡易水道施設清掃 配水池清掃：13池 ろ過池清掃：4池		簡易水道施設清掃 配水池清掃：13池 ろ過池清掃：4池		
成果・課題	今年度は、配水池13池及びろ過池4池の清掃を計画に沿って実施することができました。 来年度も計画的に施設清掃を行い、安全で安心な水を安定的に供給できるよう努めます。			

8	水道施設の予防保全の推進 DX	6 安全な水とトイレ を世界中に 	11 住み続けられる まちづくりを 	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	水道施設や設備の多くが更新時期を迎えており、安全でおいしい水を安定供給するには、適正に維持管理する必要があります。 そのため、予防保全を推進し、安定給水を図ります。 また、現場で施設監視が遠隔利用できる環境を整備し、作業の効率化及び迅速化を図ります。				
取組内容	○水道施設の予防保全 ・浄水施設：次亜貯蔵槽整備工事（一本木浄水場）（12月完成） ・送水施設：揚水ポンプ更新工事（高尾揚水ポンプ所）（3月完成） ・配水施設：計装盤機器更新工事（田治島配水池）（1月完成） ○水道施設維持管理のDX ・タブレットによる遠隔監視システムの構築（3月本運用開始）				
指 標					
計画		結果・成果			
水道施設の予防保全 浄水施設：次亜貯蔵槽整備工事（一本木浄水場） 送水施設：揚水ポンプ更新工事（高尾揚水ポンプ所） 配水施設：計装盤機器更新工事（田治島配水池） 水道施設維持管理のDX ：タブレットによる遠隔監視システムの構築		水道施設の予防保全 浄水施設：次亜貯蔵槽整備工事（一本木浄水場） ：完成 送水施設：揚水ポンプ更新工事（高尾揚水ポンプ所） ：完成 配水施設：計装盤機器更新工事（田治島配水池） ：完成 水道施設維持管理のDX ：タブレットによる遠隔監視システムの構築 ：完了			
成果・課題	水運用している施設を停止することなく工程管理を行い、設備の更新工事を予定どおり完成することができました。 また、タブレットによる遠隔監視システムについては、現場での遠隔利用を可能にすることで、作業の効率化・迅速化を図ることができました。 今後も計画的に水道施設の機器の更新及び整備工事を行い、安全で安心な水道水を安定供給していくとともにタブレットを積極的に活用し、作業の効率化・迅速化を図っていきます。				

9	安全な水道水をお届けするための水質検査体制	6安全な水とトイレを世界中に 	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	本市は、水道法で定められている水質基準 51 項目全ての水質検査を緊急時にも迅速に対応できるよう職員自らがっており、水道 G L P の認定を取得している全国でも数少ない水道事業体です。このことは、本市の水質検査の信頼性が確保されている証となるものです。令和 5 年度は、自己水質検査率 100% を維持するとともに、令和 4 年度に認定の更新をした水道 G L P を積極的に P R していきます。			
取組内容	○自己水質検査率 100% ・水質検査計画に基づく水質検査の実施（通年） （市内給水栓水、九頭竜浄水場の浄水・配水などの水質検査） ・検査機器取扱研修の受講（4 月、2 月） ・厚生労働省水道水質検査精度管理調査（6 月）、調査結果は合格（8 月） ・検査機器保守点検の実施（8～2 月） ・検査の精度管理セミナーの受講（2 月） ・厚生労働省水道水質検査精度管理研修会の受講（2 月） ・検査機器の更新：2 台（1 月、3 月） ○水道 G L P の認定更新の P R ・上下水道展におけるパネル展示（7 月） ・企業局庁舎におけるパネル展示（12 月） ・上下水道のミカタに掲載（3 月）			
指 標				
計 画		結 果・成 果		
自己水質検査率：100% 水道 G L P の認定更新の P R ：7 月（上下水道展におけるパネル展示） ：12 月（企業局庁舎におけるパネル展示） ：3 月（上下水道のミカタに掲載）		自己水質検査率：100% 水道 G L P の認定更新の P R ：7 月（上下水道展におけるパネル展示）：完了 ：12 月（企業局庁舎におけるパネル展示）：完了 ：3 月（上下水道のミカタに掲載）：完了		
成果・課題	職員の技術研修会の受講及び機器の更新や保守点検を行うことにより、高い精度の検査体制を維持し、自己水質検査率 100% の目標を達成することができました。 また、日本水道協会に認められている本市の水質検査体制は、安全で安心な水道水を供給していることを、水道 G L P を通じて P R することができました。 今後も検査方法の点検や更新を図り、高い精度の検査体制を維持していくとともに、安全で安心な水道水を P R していきます。			

Ⅲ. 安全で快適な下水道サービスを提供します

10	未普及地区における汚水処理施設の整備		6安全な水とトイレを世界中に	11住み続けられるまちづくりを	達成度	
実 行 内 容						
行動目標	衛生的で快適な生活環境の保全と水質汚濁防止を図るため、投資と財源との均衡を図りながら計画的に汚水処理施設の普及拡大を進めます。					
取組内容	○公共下水道普及拡大事業 ・令和4年度繰越工事 28件完成 ・令和5年度発注工事 53件完成 計 81件 18件繰越 ○主な整備区域 ・単独公共下水道 〔橋北〕東藤島地区（上中町、原目町、藤島町、林町、林藤島町、北野下町、堂島町、北野上町、玄正島町、若栄町） 〔橋南〕社南地区（南江守町、南居町） 麻生津地区（花守町、主計中町、鉾ヶ崎町、角原町、生野町、徳尾町） 文殊地区（大土呂町、上細江町） 六条地区（上六条町、上筋生田町、下筋生田町） 酒生地区（稲津町） 東郷地区（中毘沙門町、東郷中島町、上東郷町、枋泉町、脇三ヶ町、深見町） 一乗地区（浄教寺町、東新町、鹿俣町） ・流域関連公共下水道 森田北東部（栗森2丁目、東森田2丁目外）					
	指 標 計画 公共下水道区域内の人口普及率 ：98.3%（4年度）→99.0%（5年度） 結果・成果 公共下水道区域内の人口普及率：99.1%					
成果・課題	公共下水道普及拡大工事については、計画どおり整備を進めたことにより、目標を達成しました。 来年度は普及拡大事業の最終年度として、工事の早期発注に心掛けるとともに、適切な工程管理、安全管理に努め、福井市公共下水道事業区域の概成に向け、引き続き取り組みます。					

11	雨水対策事業の推進	11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 達成度 	
実 行 内 容			
行動目標	近年、頻発化する局地的大雨等による浸水被害の軽減を図るため、浸水常襲地区における浸水対策を推進します。 福井市下水道雨水対策基本計画を実行するため、福井市下水道雨水対策実施計画を策定し、具体的対策手法や期間を設定します。 また、浸水常襲地区において改良型雨水枡を設置し、浸水被害の早期軽減を図ります。 さらに、下水道施設の浸水対策として、処理場・ポンプ場の耐水化を計画的に進めます。		
取組内容	○福井市下水道雨水対策実施計画の策定 (3月完了) ○改良型雨水枡の設置 (9箇所 完成) ○処理場の耐水化 砂ろ過棟、管理棟耐水化工事（日野川浄化センター） 施工中（5月完成予定） ・1回目入札不調（7月20日） ・2回目入札不調（9月13日） ・3回目入札（11月8日）		
指 標			
計画		結果・成果	
福井市下水道雨水対策実施計画の策定 改良型雨水枡の設置：9カ所 処理場の耐水化 砂ろ過棟、管理棟耐水化工事（日野川浄化センター）		福井市下水道雨水対策実施計画の策定：完了 改良型雨水枡の設置：9カ所 処理場の耐水化 砂ろ過棟、管理棟耐水化工事（日野川浄化センター）：未完成	
成果・課題	福井市下水道雨水対策実施計画については、具体的な浸水対策とスケジュールを記載した実施計画を策定しました。計画に基づき、令和6年度からは、短期的な浸水対策施設の整備と、雨水流出抑制施設の設計を行います。 改良型雨水枡については、7月に9カ所完成し、大雨時には、排水能力の向上効果を確認しました。 処理場の耐水化工事については、上半期において2回の入札を行いましたが、いずれも全ての応札者が最低制限価格を下回る結果となりました。11月に行った3回目の入札により受注者が決定しましたが、防水扉等の製品製作に期間を要するため、年度内の完成には至らない結果となりました。 今後も引き続き、適切な工程管理に努め、一日も早い完成を目指します。		

12	ポンプ場の更新整備	6 安全な水とトイレ を世界中に	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	下水道のポンプ場は、家庭や工場等から排出された汚水を下水処理場へ送水するとともに、大雨時には雨水を河川に放流する重要な施設です。これらの施設機能を維持するため、耐震基準を満たさない老朽化したポンプ場の更新整備を進めます。 特に、令和元年度から着手している加茂河原ポンプ場更新事業を着実に進めることで、今年度内の供用開始を目指します。 また、足羽ポンプ場更新事業については、令和6年度からのポンプ場更新工事に着手するため、詳細設計の完了を目指します。				
取組内容	○加茂河原ポンプ場更新事業 ・ 建築工事 (7月完成) ・ 排水樋管工事 (10月完成) ・ 機械設備工事 (3月完成) ・ 電気設備工事 (3月完成) ・ 圧送管工事 (3月完成) ・ 流入管渠工事 (3月完成) ・ 総合試運転 (3月供用開始) ○足羽ポンプ場更新事業 ・ 詳細設計業務の協定締結 (6月) ・ 協定相手方と打合せ (19回) ・ 関係機関協議 (40回) ・ 地元説明会 (4回) ・ 河川占用許可申請 (11月) ・ 詳細設計業務 (2月完了)				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
加茂河原ポンプ場の供用開始 足羽ポンプ場更新事業の詳細設計完了			加茂河原ポンプ場の供用開始 足羽ポンプ場更新事業の詳細設計完了		
成果・課題	加茂河原ポンプ場更新事業については、関係機関及び受注者との協議を密に行い、適切な工程管理、安全管理に努め、目標どおり供用開始することができました。引き続き、既設ポンプ場の解体及び場内整備を行います。 足羽ポンプ場更新事業については、関係機関と協議を行うとともに、地元説明会を丁寧に行い、設計業務が完了しました。来年度から工事に着手し、切れ目なく更新整備を進め、早期に事業効果が発現できるよう努めます。				

13	下水道施設の長寿命化への対策と適切な維持管理	DX	ゼロカーボン	6 安全な水とトイレ を世界中に	11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実行内容							
行動目標	下水道施設の機能を維持するため、改築及び調査・診断をストックマネジメント計画に基づき行い、下水道施設全体の長寿命化に取り組みます。 また、モバイル端末を活用し管路情報を遠隔利用することにより、管路の閉塞や道路陥没等の発生時に既設管路の情報を速やかに入手し、効率的かつ適切な維持管理に努めます。 さらに、日野川浄化センターに設置されている消化ガス発電装置を適切に維持管理し、二酸化炭素排出の削減に努めます。						
取組内容	○下水道管路の長寿命化 ・下水道管改築工事 令和4年度繰越工事 1.1 km 完成 令和5年度工事 2.1 km 完成 						

14	下水道管路の耐震化	11 住み続けられる まちづくりを	13 気候変動に 具体的な対策を	達成度										
実 行 内 容														
行動目標	市民生活に欠かすことの出来ない重要なライフラインである下水道管路は、地震時においても下水道の機能を確保する必要があるため、耐震化を進めます。 また、重要な幹線等の下水道管路施設に対し、管路施設耐震診断調査（詳細診断）を行います。													
取組内容	○下水道管路の耐震化推進に係る取り組み													
	・普及拡大工事													
	<table><tr><td>令和4年度繰越工事</td><td>11.0 km</td><td>完成</td></tr><tr><td>令和5年度工事</td><td>13.5 km</td><td>完成</td></tr><tr><td>計</td><td>24.5 km</td><td></td></tr></table>					令和4年度繰越工事	11.0 km	完成	令和5年度工事	13.5 km	完成	計	24.5 km	
	令和4年度繰越工事	11.0 km	完成											
令和5年度工事	13.5 km	完成												
計	24.5 km													
・管路改築工事														
	<table><tr><td>令和4年度繰越工事</td><td>1.1 km</td><td>完成</td></tr><tr><td>令和5年度工事</td><td>2.1 km</td><td>完成</td></tr><tr><td>計</td><td>3.2 km</td><td></td></tr></table>					令和4年度繰越工事	1.1 km	完成	令和5年度工事	2.1 km	完成	計	3.2 km	
令和4年度繰越工事	1.1 km	完成												
令和5年度工事	2.1 km	完成												
計	3.2 km													
	○管路施設耐震診断調査（詳細診断）業務： 3.6 km													
	・耐震性能の把握、補強工法の検討、概算工事費の算定、年度別計画													
指 標														
計画			結果・成果											
⑬ 14 下水道管路の耐震化率 ：51.0%（4年度）→51.9%（5年度） 管路施設耐震診断調査（詳細診断）：3.5km			⑬ 14 下水道管路の耐震化率 ：51.9% 管路施設耐震診断調査（詳細診断）：3.6 km											
成果・課題	下水道管路の耐震化については、適切な工程管理、安全管理に努め、目標を達成しました。 来年度は今年度の詳細診断結果により、耐震化詳細設計を実施します。 今後は、福井市下水道管路施設地震対策基本計画に基づき、管径 800 ミリメートル以上の重要な幹線等の耐震化を推進することで、地震による下水道の被害を最小限に抑え、「災害に強い強靱なまちづくり」を目指します。													

15	新 集落排水処理施設の機能強化・保全の推進	 安全な水とトイレを世界中に 住み続けられるまちづくりを	達成度	
実 行 内 容				
行動目標	農山漁村地域にある集落排水処理施設は、家庭等から排出されたし尿及び生活雑排水を浄化し、公共用水域の水質保全、農業・漁業生産環境と地域の生活環境の向上を図る重要な施設です。 集落排水処理施設の機能を維持するため、最適整備構想に基づく機能強化事業及び機能保全計画に基づく機能保全事業を実施し、施設全体の長寿命化に取り組みます。			
取組内容	集落排水処理施設の長寿命化 ○機能強化事業（品ヶ瀬地区） ・詳細設計業務、簡易耐震診断（11月完了） ・機械、電気設備工事（3月完成） ・防食工事（3月完成） ○機能保全事業（蒲生・茱崎地区） ・詳細設計業務（9月完了） ・機械、電気設備工事（3月完成） ・建具改修工事（3月完成）			
指 標				
計 画		結 果 ・ 成 果		
集落排水処理施設の長寿命化 機能強化事業：機械・電気設備等工事（品ヶ瀬地区） 機能保全事業：機械・電気設備等工事（蒲生・茱崎地区）		集落排水処理施設の長寿命化 機能強化事業：機械・電気設備等工事（品ヶ瀬地区）：完成 機能保全事業：機械・電気設備等工事（蒲生・茱崎地区）：完成		
成果・課題	機能強化事業及び機能保全事業については、昨今の社会情勢の中、部品調達の遅れが懸念されましたが、受注者との協議を密に行ったことで、機器製作が計画どおりに進み、目標を達成しました。今後も、集落排水処理施設の機能を維持するため、施設の長寿命化に取り組みます。			

IV. 災害時に速やかに対応できるよう、危機管理能力の向上に取り組みます

16	自然災害に対応するための訓練の実施	6 安全な水とトイレ を世界中に	13 気候変動に 具体的な対策を	達成度	
実 行 内 容					
行動目標	市民生活に欠かすことのできないライフラインである水道・下水道について、地震等の災害が発生した場合でも早期に復旧ができるよう、企業局危機管理マニュアル等に基づき企業局独自の対応訓練を行います。 また、企業局だけでは対応できない場合を想定し、関係団体や民間事業者等と合同で訓練を行います。 さらに、企業局独自に準中型自動車免許取得のための助成制度を新たに創設し、災害発生時に給水タンク車や排水ポンプ車等の緊急対応車両を運転できる職員を育成します。 これらを通じて、更なる危機管理能力の向上に努めます。				
取組内容	○企業局防災訓練（風水害・震災） ・災害対策本部運営訓練、支援要請訓練、災害対応現場訓練（6月20日） ・シナリオ非提示型、ロールプレイング方式による机上訓練（11月6日） ○関係団体等との合同防災訓練 ・下水道事業災害時近畿ブロック支援連絡会議 情報連絡訓練（4月14日） ・下水道事業災害時中部ブロック連絡会 情報連絡訓練（8月23日） ・日本水道協会中部地方支部合同防災訓練（越前市）（10月26日～27日） ・下水道事業災害時近畿ブロック支援連絡会議 情報連絡訓練（10月31日） ・福井県下水道情報伝達訓練（11月2日） ○準中型自動車免許取得助成制度を活用した免許取得者 10人 ○災害協定等に基づく令和6年能登半島地震への支援活動 ・水道 応急給水 中能登町（1月2日～8日） 七尾市（1月28日～2月1日、2月25日～29日、3月24日～28日） 応急復旧 七尾市（2月5日～9日） ・下水道 管渠調査 中能登町（1月8日～11日、19日～23日、2月8日～10日、16日～22日） 津幡町（3月7日～9日） 小松市（3月18日～26日）				
指 標					
計画			結果・成果		
企業局防災訓練（風水害・震災）：2回 関係団体等との合同防災訓練（水道・下水道）：4回			企業局防災訓練（風水害・震災）：2回 関係団体等との合同防災訓練（水道・下水道）：5回		
成果・課題	今年度は、近年頻発しているゲリラ豪雨や台風の影響による浸水被害等に対応するため、上下水道担当職員合同で、災害対策本部の運営訓練や現場訓練を行いました。特に、給水コンテナの組立てから応急給水までの一連の動作確認を行う応急給水訓練や、排水ポンプ車を使用してポンプの設置から排水までの一連の動作確認を行う排水訓練を初めて行いました。 また、昨年度に引き続き、業務継続計画に基づき、大規模地震で上下水道施設が被災した場合を想定したシナリオ非提示型のロールプレイング方式による訓練を実施しました。 さらに、今年度創設した準中型自動車免許取得のための助成制度により、新たに10人の職員が免許を取得し、給水車や排水ポンプ車の運転ができるようになりました。 今後も、いつどこで起こるか分からない災害に職員一人ひとりが的確に対応できるよう、より実践的で効果的な訓練を継続的に実施し、危機管理能力の向上に努めます。				